

トピックス



● 新生児臨時特別定額給付金支給事業

物価高騰に伴う支援として2021年4月2日～2023年4月1日までに生まれた赤ちゃんに一人当たり一律10万円給付されます。

● 中学校給食センター整備事業

資材高騰等に伴い、事業費・スケジュールが変更されます。

全員給食開始スケジュール

堺エリア→2024年度2学期

鶴川エリア→2024年度3学期

町田忠生小山エリア→2025年度1学期

南エリア→2025年度2学期

● 高校生等医療費助成制度

医療費の自己負担分の助成が2023年4月よりスタートします。

(通院1回につき200円の自己負担、所得制限あり)

● 地域福祉コーディネーター導入

2023年1月4日より相原・小山地区で地域福祉コーディネーターの導入が始まります。複雑化した困りごとをひとつの窓口で受け、福祉の分野を横断した困りごと相談を行います。縦割り行政を打破する事業として期待を寄せております。市の重点事業として、2025年度までに市内全域への整備を予定しております。

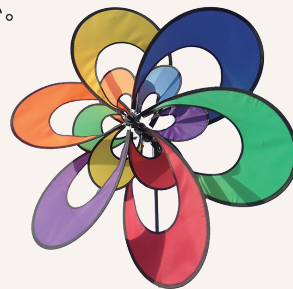
● (仮称)国際工芸美術館建設

2022年3月に工事費約28億6千万円が可決されましたが、資材高騰の影響で6億6千万円増額となり、1億8千万円の減額を行いました。約4億8千万円の予算が増額となり、結果として合計約33億4千万円となる見込みであると市から報告がありました。近隣住民の方からは異論が上がり、市へ住民監査請求も出されております。この件についてはこれまでも、本当に市民の声が市政へ届いているのだろうかともどかしく感じてきました。次回、3月の定例会で追加予算について、未来の町田に何が必要なのか、真っ直ぐに向き合って参ります。



一般質問で提案しました

- せりがや冒険遊び場には常勤の職員が必要ではないか。
- 持続可能な農業への転換について(みどりの食料システム戦略の活用)。
- 不登校支援(メタバース登校)について。
- 市民意識調査へウェルビーイング指標等を活用してはどうか。
- 学校と家庭がつながるデジタル化について。
(欠席連絡、おたより、健康観察カード、保護者からの相談、個人面談日程調整)
- 市の事業の企画立案時点での新しい市民参加の在り方としてDX化が必要ではないか。
- 子育て中のママがガン等の病気になった時の日中の子どもの預かりについて。
- いじめ早期発見のための学校と家庭の連携について。
- 芹ヶ谷公園「芸術の杜」パークミュージアム整備計画説明会について。
- コロナ禍での投票に関する配慮について。
- 特別な支援が必要な児童生徒へ通常学級での支援体制に地域人材を活用を。
- 玉川学園コミュニティバス「玉ちゃんバス」について。



LINE相談はじめました

いただいたメッセージは秋田本人のみ確認し
他の者には見えないようになっております。

